

会 議 事 録

1 会議名	令和4年度第1回長岡市水族博物館協議会
2 開催日時	令和4年7月13日（水） 午後3時から午後4時30分
3 開催場所	長岡市寺泊文化センター（はまなす） 3階 大研修室
4 出席者名	協議会委員 石井委員、大浦方委員、鹿目委員、金内委員、品田委員 清水委員、遠山委員、柳下委員 委員以外の出席者 安達教育部長、入澤寺泊支所長 （事務局＝科学博物館） 小熊科学博物館長、神保科学博物館長補佐 青柳寺泊水族博物館長、井村総括主査、矢引主査 田中会計年度任用職員
5 欠席者名	家後委員、佐藤委員
6 議題	報告（1） 正・副委員長の互選について （2） 令和4年度事業実施計画・状況について （3） 水族博物館整備事業の計画（概要）について

7 審議結果の概要	<p>(1) 正・副委員長の互選について 委員長に柳下委員、副委員長に金内委員が選出された。</p> <p>(2) 令和4年度事業実施計画・状況について 概要を事務局より説明</p> <p>(3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について 概要を事務局より説明</p>
8 審議の内容	
<p>委員</p> <p>一同</p> <p>事務局</p> <p>事務局</p> <p>委員長</p> <p>事務局</p>	<p>(1) 正・副委員長の互選について これまでの経緯を理解されている柳下委員を委員長、金内委員を副委員長に推薦したい。</p> <p>異議なし。</p> <p>それでは委員長は柳下委員、副委員長は金内委員に決定する。</p> <p>(2) 令和4年度事業実施計画・状況について (資料により説明) 主な意見は次のとおり。</p> <p>市政だよりに水生生物探索会についての写真が載っていたが、イベントには職員も参加するのか。</p> <p>水族博物館周辺の浅い海に入り、職員の案内の下、親子で生物採集をしてもらう。その後、水族博物館に戻って来て解説を行い、採集した生物を海へ返すという活動内容である。実施日によって採集生物の種類数は前後するが、平均で毎回20種類以上の生物が採れる。採集した生物の中にはこれまでの記録にない生物が見つかることもある。7月9日には寺泊若者会議主催の探索会も開催され、講師として参加してきた。</p> <p>水生生物探索会は募集開始後1日、2日で定員に達してしまうほど人気のイベントであるが、参加人数を増やしてしまうと職員の目が届きにくくなってしてしまうため、現状の定員で行っていく予定である。</p>

委員長	<p>親も一緒に海に入っているのか。</p>
事務局	<p>一緒に入ってもらっている。子供には全員ライフジャケットを着用してもらい、大人も希望者には貸し出している。</p> <p>海に入る際は長袖長ズボンで、足元はマリンシューズかスニーカーを履いてもらい、安全に海を楽しんでもらえるよう協力していただいている。</p>
委員	<p>協議会参加前に水族博物館を見学してきたが、平日にもかかわらず多くの観覧者がおり盛況だった。</p> <p>長岡市、寺泊地域ならではの淡水魚がわかりやすく展示されており、また、水生生物探索会のように子供たちが実際に海に潜って生物に触れる機会もあって素晴らしいと思う。</p>
事務局	<p>水族博物館を運営していく中で、寺泊漁業協同組合から生物を譲っていただいております、感謝しています。</p> <p>過去に子供たちを船に乗せて乗船採集のイベントを行ったことがあるが、現在は一般の方を漁船に乗せることは出来ないのか。</p>
委員	<p>許可を取らなければいけないので難しい。</p> <p>今後も寺泊水族博物館から希望があれば、魚の提供は行っていく。</p>
委員	<p>大人限定バックヤードツアーが再開されたと聞いて嬉しく思う。子供対象のイベントでは、どうしても子供の目線での解説になってしまい、連れ添う大人は「子供向けの話なんだ」と思ってしまう。しかし、最初から参加者を大人に絞れば、もう少し踏み込んだ解説が可能で、大人からも遠慮なく質問ができる。大人であれば自分の好きな時に何度でも訪れることが出来るので、大人のリピーターを増やすのは有効である。</p> <p>割引券付きレシートの利用者が1,821人いるということで、リピーターの多さが把握できた。割引券付きレシートを利用していないリピーターもいると考えれば、もう少し多いかもしれない。</p> <p>「動物園には一生のうちに4回行く」という言葉があるが、何度でも来たくなるような水族館を目指してコアなファンを増やすことで、水族館も充実していくと思う。</p> <p>スタンプカードの実施によって利用回数を把握することも素晴らしい</p>

委員	<p>い取り組みだと思し、もう一步踏み込んでいえば、景品を渡す際にアンケートや聞き込みをして、リピーターの意見を把握することで宣伝事業効果が上がると思うので検討していただきたい。</p> <p>海辺の活動というところで、今までは浜でサンドアートやカヌーなどをやっていたが、ビーチコーミング等生物関係の調査もできたら良いと考えていた。</p> <p>コミュニティスクールということで地域の方から委員として学校に入っただき色々な活動を組んでいるので、寺泊の子供たちが海辺の活動に参加できるように連携が取れると良いと思っている。そういったイベントの依頼などはあるか。</p>
事務局	<p>寺泊小学校から中央海水浴場での校外学習について依頼が来ている。時期的に海岸清掃実施後で砂浜がきれいな状態であることが想定されるため、水族館博物館からいくつか資料を持っていき解説をしようと考えている。</p>
委員	<p>地域にある水族博物館にもっと親しんでもらいたいと考えていたので、実現できて良かった。</p> <p>寺泊小学校では三年生で魚の市場通りでの買い物、四年生で釣り船体験を行っているので、そこからさらに一步進んだ活動が出来ればと常々考えている。</p> <p>今年2月の協議会でバスで水族館ドキドキ体験が廃止されるという話があり、学校教員としては残念に思ったが、早めに連絡をもらえたので次年度の計画が立て易かった。</p>
委員長	<p>バスで水族館ドキドキ体験について、結局はどうなったのか。</p>
事務局	<p>今年度から廃止した。民間のバスを借り上げ、水族博物館へ観覧に来る市内の小学校もある。今までは寺泊支所のバスを借りながらやってきたが、状況的に継続が難しくなってきたため、ご理解いただきたい。</p>
委員	<p>来館する団体数の状況はどうか。</p>
事務局	<p>若干、減っている。例年、「バスで水族館ドキドキ体験」で25校以上</p>

<p>委員長</p>	<p>の利用があったが、このままいくと今年度は三分の一程度の減少になると思われる。一方で、見附市や燕市など近隣の市町村から各市町村のバスで来る小学校等も多い。</p> <p>同じようにできればいいのだが、なかなか難しい。</p> <p>他の支所のバスを使えるように働きかけることはできないのか。</p>
<p>寺泊支所長</p>	<p>バスの台数と運転手の両方が足りない状況なので厳しいと思う。事前に日程がわかればその日のバスと運転手を探すことはできるが、見つかるとは確約できない。</p>
<p>委員</p>	<p>昨年度バスで水族館ドキドキ体験を学校行事として利用させてもらったが、廃止の連絡を聞いてとても残念に思った。子供たちにとってこういった体験はとても貴重だと思っている。学校で参加できるイベントが欲しい。</p>
<p>委員</p>	<p>私の小学校時代にそういった体験があれば嬉しかったと感じた。</p> <p>リピーター増加対策について、子供が幼い時に何度も寺泊水族博物館を訪れたため、その頃にスタンプカードがあれば良かったと思った。オリジナルグッズコーナーに新しい商品のお知らせがあるのを見かけて、また来ようという意欲が湧いた。</p> <p>駐車場に停まっている車を見ると、県外ナンバーの車が多いように見える。訪れている人たちも老若男女様々で、幅広い人々に愛されている水族館なんだと感じた。</p> <p>他の水族館とは違い、ペンギンプールの臭いがないことに毎回驚かされる。</p> <p>トイレの洋式化後に初めて利用したが、小さい子供のために被せるタイプの補助便座があると良いと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>ホームページのリニューアルを行ってから、多方面から質問等の問い合わせが増えた。先日は子供会の役員の方から、見学だけでなく何かイベント等を行えないかという要望があり、バックヤードツアーを提案したところ喜んでいただけた。</p> <p>ペンギンプールの臭いが無い理由は、毎朝、給餌が終わった後に水を全て落とし清掃を行っているからだと思われる。ろ過機的能力不足もあり、この清掃作業に人も時間も取られている状況のため、今年度</p>

委員	<p>予定しているろ過機の改修によって作業の軽減が図られると期待している。</p> <p>先ほどバックヤードツアーについての話があったが、美ら海水族館では別料金を頂いてのバックヤードツアーを実施している。水族館の建て替えの際には、最初からこういったイベントでバックヤードも観覧者に見ていただくということを前提として設計すると良いと思う。</p>
委員	<p>水生生物探索会はどこで行っているのか。</p>
事務局	<p>水族博物館の直ぐ脇の海には、全国的に保全活動が行われているアマモの藻場があり、そこで行っている。</p>
委員	<p>藻場にはオコゼ等危険な生物もいるので、よく注意してイベントを行った方が良いと思う。</p>
事務局	<p>水生生物探索会を行う時期には、危険な生物がいる。先日、佐渡汽船のりば周辺でイベントを開催した時は、10cm 程度のオニオコゼが採れた。海に入る前には危険な生物等について説明し、安全対策をしっかりとした上で、職員が先導して足場を確保しながら実施している。</p>
委員	<p>展示してある解説のパネルの字が大きくなっていて見やすかった。内容も非常に親しみやすい内容となっていたが、いつ頃変更したのか。</p>
事務局	<p>解説に関しては定期的に見直しをしており、子供でもわかりやすい文章にするよう心掛けている。設備上の問題もあるので難しいところもあるが、照明の当て方など、より見やすくなるように工夫している。</p>
委員	<p>何気ないことかもしれないが、専門的な解説を丁寧に親しみやすく標記することは、しっかりとした知識がなければできないことであるので、解説を作成している職員の方も苦勞されているのだろうと感じた。</p>
委員長	<p>寺泊水族博物館の特色として、海の匂いがするということがある。寺泊の海を生かす方向で、これからも頑張ってもらいたい。</p>

事務局	<p>(3) 水族博物館整備事業の計画（概要）について （資料により説明） 主な意見は次のとおり。</p>
委員	<p>大河津分水路改修工事の工期が延びるという話を聞いて、あれだけの大事業の中で、国から見れば小さな自治体の長岡市が水族館を建てるかどうかということは、大きな波の中に飲まれてしまう。しかし、水族博物館の建物の耐久性には必ず限界があるので、必ず建て替えなければならない。</p> <p>一般的に水族館は魚を見に来るものだが、私は水槽の裏側にいる人を見ている。ただ水槽を置いて魚を展示してるだけではなく、解説を付けたり、生体の魅力を引き出すにはどう展示すればいいか工夫をすることで、動物園や水族館は成り立っている。</p> <p>現在、動物園では飼育係という言葉を使わず、飼育展示係と呼んでいる。昔、「うちの子は人と話すことが苦手なので、飼育係になれば良い」という話を聞いたが、来館者に展示生物の魅力を説明する能力が無ければそういった仕事はできないので、専門的な能力を持つ人材は抱えていかなければならない。</p>
教育部長	<p>委員の言われていることは理解している。我々としても地域にとって寺泊水族博物館が今後も必要であるという認識は持っており、いかにして持続していくかを考えている。</p>
委員	<p>運営形態を指定管理にしてしまうという方法もあると思うが、これまで積み重ねてきたものが失われてしまうかもしれない。そうなってしまってからでは遅い。難しい話だが、これからも頑張っって欲しい。</p>
委員長	<p>前市長の時に寺泊町と長岡市が合併したが、これによる最大の利点は長岡市が海を得たことだと思う。基本的な考えとして、海を知り、海を生かして行って欲しいと思う。</p>
委員	<p>やっぱり海を見るとテンションが上がるので、海を生かしていくという方針はとても良いと思う。</p> <p>人材について、ある会社では首都圏での研修時と地方での勤務の時給が大きく違うという話を聞いたことがある。これは働く人材にとって大事な要素であるので、人材確保を考える際に参考にして欲しい。</p>

<p>委員</p> <p>委員</p>	<p>スタンプカードやレシート割引を活用してくださるリピーターの方々に、寺泊水族博物館に来てくれた理由をアンケート等で答えてもらうことで、寺泊水族博物館の強みを発見し、今後の運営に生かしていけると思う。</p> <p>上野動物園のパンダを毎日撮り続け、毎日パンダというブログを公開し、写真家として写真集まで出した方がいる。こういったコアなリピーターの方は、一般の方とは違った目線を持っている場合が多いと思うので、そういった方たちへ常に新しい情報を発信する、あるいは漁業協同組合と連携して珍しい生体が捕れたら展示に挑戦してみるといった試みを行うのも良いと思う。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>9 会議資料 別添のとおり</p>	